

令和6年5月21日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和6年5月21日(火曜日)

午後2時30分から午後3時まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委 員 鷲尾 達雄 委 員 大久保 真紀
委 員 廣川 佳予子 委 員 熊倉 達也

4 欠席者

なし

5 職務のため出席した者

教育部長	竹内 正浩	子ども未来部長	星野 麻美
教育部参事(科学博物館長事務取扱)	金垣 孝二	教育総務課長	桜井 秀行
教育施設課長	吉田 朗	学務課長	大竹 美加
学校教育課長	遠藤 雄一	学校教育課部活動地域移行担当課長	石川 智雄
学校教育課主幹兼管理指導主事	玉木 暢	学校教育課主幹兼管理指導主事	佐々木 潤
学校教育課主幹兼管理指導主事	稲毛 真哉	中央図書館長	梅沢 一茂
子ども・子育て課長	深澤 寿幸	子ども家庭センター所長	大久保 千春
保育課長	江田 佳史	スポーツ振興課長	中山 玄

6 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 中村 一幸

7 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 17 号	条例改正の申出について（長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について）
3	第 18 号	条例改正の申出について（長岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について）
4	第 19 号	附属機関委員の委嘱について

8 会議の経過

（金澤教育長） これより教育委員会 5 月定例会を開会します。

◇日程第 1 会議録署名委員について

（金澤教育長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び大久保委員を指名します。

◇日程第 2 議案第 17 号 条例改正の申出について

◇日程第 3 議案第 18 号 条例改正の申出について

（金澤教育長） 議案第 17 号 についてです。この内容と、議案第 18 号は、公表前です。ありますので非公開が適当ではないかと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

— 会議規則第 20 条第 2 項の規定により公表しない —

◇日程第 4 議案第 19 号 附属機関委員の委嘱について

（金澤教育長） 日程第 4 議案第 19 号 附属機関委員の委嘱について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(桜井総務課長) 議案第 19 号 附属機関委員の委嘱について説明します。長岡市公立学校通学区域審議会において、長岡市三島郡小学校長会・脇野町小学校長会からの推薦委員が令和 6 年 3 月 31 日付けで異動したことに伴い、後任に同校長会が推薦する委員を委嘱するものです。委嘱期間は令和 6 年 5 月 21 日から令和 7 年 9 月 30 日までになります。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

(金澤教育長) 以上をもちまして、議案の審議を終了いたします。

(金澤教育長) 続きまして、協議報告事項に移ります。附属機関等会議報告 令和 5 年度第 2 回長岡市スポーツ推進審議会報告について 事務局の説明をお願いします。

(中山スポーツ振興課長) 令和 5 年度第 2 回長岡市スポーツ推進審議会報告をさせていただきます。3 月 22 日に開催し、出席者は委員 7 名のほか記載のとおりです。第 2 回目の審議会では、4 つの内容について審議しました。会議で出た主な意見及び事務局の回答の骨子については資料項番 4 にまとめてあります。内容の一つ目として、「令和 6 年度主要事業の概要の中で e スポーツについて今後普及することは、認知症予防など福祉や健康などの観点からも注目されているが、今後の展望はあるか」というご意見がありました。一例として、元日に発生した能登半島地震の際に、避難所に機器を持ち込み、画面を共有しながら身体的活動を一緒に行い、高齢者の血圧を下げたり、コミュニケーションが取れたりしたという効果が紹介されていたこともあり、今後は一つのツールとしての e スポーツの普及や、広く健康づくりを実施して行きたいと考えている旨を回答しました。二つ目は、子どものころから「支える」スポーツを体験することができる環境が必要だと判断し事業化した根拠について質問がありました。これについては、市として新しく環境を展開をしていきたいと説明をさせていただきましたが、環境が必要だと判断し事業化した根拠としては、本定例会でも協

議をいただきました長岡市スポーツ推進計画策定時のアンケート結果にて、スポーツに何かしら関わりたいというニーズが一定以上あることが分かりました。中学生以上の子どもの段階からボランティアとして支えたり、イベントの運営に関わるなどの喜びを感じられる人材を育てたりすることで、側面からスポーツを支えるような人材を育てていくことで、今後のスポーツ振興において「する」スポーツにも繋がっていくと考えています。次に、現在のスポーツ施設については、スポーツ施設ストック適正化を進めるにあたり、残す施設と廃止していく施設を検討し、振り分けをしましたが、「大変困難な作業だが、今後はどのように進めていくのか」という質問がありましたので、残していく施設については、個別の施設修繕計画なども踏まえて施設の振り分けを行い、併せて料金体系の見直しも考えながら検討し作業を進めていきたいと考えている旨を回答しました。最後に、「中学校部活動地域移行に際して「長岡市教育委員会が認定するクラブ」とあるが、具体的にはどのようなイメージなのか、既存のスポーツクラブを想定しているのか」という質問がありました。回答としては、ガイドラインの中に「現行の中学校部活動と同等の活動を行える地域クラブ」という定義があるため、公的な支援を受けながら中学校体育連盟の主催する大会に出場できるクラブを地域クラブとして認定していくことを想定しているとお答えしました。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(鷲尾委員) eスポーツについて、例えば、今までに部活動では設置がなかったものが、今後の地域移行に伴い、活動として認定されたりする等、どのように普及させていこうとしているのかお聞かせください。

(中山スポーツ振興課長) 現在、今後段階的に移行する中で、中体連の種目にあるものが主となっているため、eスポーツは地域移行として捉えていませんが、今後地域移行が完了した後に、現在の部活動にない種目も、今後の子どもたちのスポーツ活動の中においては移行の種目の一つとして考えていますので、そうなった場合には技術講習も含めて展開していきたいと考えます。

(金澤教育長) eスポーツは現在は第三層の活動にあたると思われるものの、もしかすると今後オリンピック種目になる等、第一層でクラブができる可能性もあるのではないのでしょうか。

(中山スポーツ振興課長) 完全に地域移行した後は、トップを目指すeスポーツの

プレイヤーから、市民の健康づくりのために推進したいといった方を含め、幅広く考えていきたいと思っています。

(金澤教育長) 第2層のなかでは可能性が低いということですよ。

(中山スポーツ振興課長) 全国では、高等学校でeスポーツの選手権が開かれていたり、部活動としてあるようですが、中学校では開催していないようです。

(石川学校教育課部活動地域移行担当課長) 現時点で競技団体として成り立っていない側面がありますが、県でも競技団体を作る動きがあります。県のスポーツ担当部署が動いていますので、連携を図りながら考えていきたいと思っています。ガバナンスの担保など色々な課題もありますので、引き続き県と連携を図っていきたいと思っています。競技団体の形が整ってきたら、第1層、第3層に入っていただき、将来的には第2層の中でもガバナンスを統治でき、運営団体として事務的な業務もしていく必要があるという判断になれば、今後の検討材料になって行くと思います。

(金澤教育長) 今回の審議会での話は、高齢者の健康づくりなどの生涯スポーツという傾向が強いですよね。

(中山スポーツ振興課長) 長岡市全体で地域戦略や健康福祉に取り組んでいますが、競技としての部分についても、しっかりと行ってほしいという観点から意見が出ました。

(廣川委員) 「支える」スポーツについてお聞きします。全国的に「する」スポーツではなく、「支える」という観点から、何か動きがあるのですか。

(中山スポーツ振興課長) 「する」スポーツの実施率を高めたいのが一番の目標ですが、支所地域を中心に運営スタッフなどが年々高齢化していく中で、継続が課題となる状況が増えてきました。全国の状況を調べると、中学生から大学生までの子どもたちに、自分たちの地域に合ったイベントを企画し、補助金の支援を受ける体験をした子どもたちの経験が好循環になり、祭りやスポーツイベントなどもしていきたいという動きがありましたので、長岡市としても、スポーツ協会も含めて、新しい取組として進めていきたいと考えています。

(廣川委員) 将来的には、スポーツの普及を含めた人材も育てていくイメージということですね。

(金澤教育長) 他に、御質疑はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) これをもちまして、協議報告事項を終了します。

(金澤教育長) それでは次に、催し案内等について説明願います。

(梅沢中央図書館長) 資料1番から3番は、「日本刀の美V」に関するイベントです。

4月27日から6月23日まで栃尾美術館で開催しており、ギャラリートークは毎週日曜日に開催しています。6月2日は、日本美術刀剣保存協会長岡支部会員による情熱的な解説をしていただきます。3番の「刀剣×ペーパークラフト」はつきいち☆アートとして、小学生向けではありますが、月一回のアート企画も併せて開催しています。日本刀の美Vの展覧会は4月27日から開催していますが、現時点で1,400人を超える集客数を見込んでいます。続いて4番は、中央図書館で開催予定の「文化講座『源氏物語』若紫巻の仕掛け一紫の上登場」です。現在、大河ドラマでも放送していますが、申し込みも多く、非常に人気があります。講師に新潟大学人文学部准教授の高橋早苗さんを迎えて講座を開催します。

(金垣教育部参事) 5番目の「昆虫観察ウォーク 2024」については、野外の昆虫観察を開催します。一日を通して昆虫の観察・採取・標本作りなど学ぶ企画です。参加する子どもたちに興味を持って、継続して参加してもらえるような企画を考えました

(深澤子ども・子育て課長) 「第53回子どもフェスティバル」について、6月9日にアオーレ長岡を会場に、朝9時から午後4時まで開催します。主催は、子ども会連絡協議会です。

(金澤教育長) ここまで何か御質疑はありませんか。

(鷲尾委員) 子どもたちの虫に対する関心が、昔に比べて無くなっているなど感じることはありますか。

(金垣教育部参事) 非常に難しい質問ですが、科学博物館では2年に一回、昆虫の標本展等の展示会を開催しています。昨年の開催時には、子どもだけでは無いと思いますが、1万2千人以上の方が来場していますので、親と子を含めて昆虫が好きで、関

心がある層が一定数いることは間違いありません。どのような動機で来場しているかは不明です。展示会に進化、深みが欲しいと学芸員も話しており、現時点では好きだが深くは入らない人達が多いのではないかと思います。

(金澤教育長) 理科教育の観点からはいかがですか。

(玉木学校教育課主幹兼管理指導主事) 私は中学校が本業ではありますが、小学校に三年間いたことがあります。極端に虫を触れないという子どもから、ベタベタ触れる子どもがいます。まちなかの学校ではなく、周りには田んぼがあるような環境でしたが、学校でカエルを見ると怖がったり、教科書の写真を見るだけでもダメな子どもがいたり、両極端な印象を持ちました。

(熊倉委員) 現在は、生活圏に圧倒的に身近に虫がいない状況だと思います。昔は窓を開けたらカブトムシが入ってきたりすることはありましたが、現在はそんなことはまず無いですから、分極化していると思います。好きな子は好きで、虫を宝物にしているような子どもと、全く触れない子どもに分かれるのではないのでしょうか。講座に参加する子どもたちは虫が好きな子どもが中心だと思いますが、親が連れてくることで子どもが好きになるきっかけになることもあるのでは、と聞いていました。

(金澤教育長) 私も、二極化の感じを受けます。本当に好きで昆虫にはまる子どもと、一切経験が無く、触ったこともない、更には親も虫が嫌いともなれば難しいですね。

(鷲尾委員) 自分が子どもの時は、昆虫標本を作ることを授業で習ったりして、夏休みの宿題では、昆虫標本はスタンダードだった記憶があります。

(金澤教育長) 夏休みの自由研究で、昆虫標本作成をしていた子どもはいたと思います。

(鷲尾委員) 標本が遺産としてあるが家族は興味が無く、博物館に寄贈の依頼が多く寄せられるものの、博物館は受け入れられないというニュースを何年か前に見た記憶があります。

(金澤教育長) 長岡市出身の松岡達英さんは、絵本作家と紹介したら良いのか、昆虫生物の絵を描かれている専門の方と紹介したら良いのか迷いますが、先日、市に原画を寄贈いただき、寄贈式でお会いして話をさせていただきました。寄贈式での話を教育部長お願いします。

(竹内教育部長) 今回は400点強の作品を寄贈いただきました。その前には科学博物

館に、色々な国に行かれて描かれた昆虫の原画と標本も寄贈いただきました。

(金澤教育長) 松岡さんは標本を作り、それをもとに絵を描かれます。

(竹内教育部長) 昆虫標本に特化すると、趣味や子どもの感性が多様化しています。今年も開催を予定していますが、科学博物館にて、昨年は10月末に県内の昆虫標本と岩石の化石標本展示を開催しました。興味のある子どもは、熱心な先生方が作成したようなプロ顔負けの凄い標本を作成します。そういったものを展示しますので、今年も御案内しますので、是非、見ていただきたいと思います。

(金澤教育長) 松岡さんの原画は細密で、迫力が凄いです。絵の中には生活環境が表現されていて、生き物だけではなく、その周りに描かれている植物も精緻に描かれています。生き物が大好きだからこそしていたことを、原画を寄贈することで是非長岡の子どもたちに、見て、興味を持ってほしいと話されていました。

(梅沢中央図書館長) 9月21日から、栃尾美術館にて、寄贈いただいた原画などの展示会を開催しますので是非御覧ください。

(鷺尾委員) 博物館は、作品を貯蔵・研究したり、関わっていく題材が、世の中の流行り廃りなど、ムーブメント的なものに影響を受けるものですか。それとも、アカデミックにそれぞれしっかりと連綿と続けていくのですか。

(金垣教育部参事) 歴史の分野で言うと確実に時代の影響を受けます。事例では、他の博物館で既に新型コロナの展示を実施したりなど、「今」の資料を展示する。新しい物も資料として展示する時代になっています。一方で、地道に採取を続けたものが50年後に評価を受けるような資料を展示したりもするので、様々です。災害関係の展示をしている博物館もあり、各所で時代に合わせて収集や展示をしている現状です。

(竹内教育部長) 補足すると、そのような時代になり、昨年度、国立博物館のクラウドファンディング「地球の宝を守れ 国立科学博物館500万点の資料を次世代へ」が目標額を大きく上回ったことで話題になりました。科学博物館でも、企画展「植物×鳥×ケモノーなぜ集める？どう守る？ー」を現在開催していますので、是非お立ち寄りください。

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会します。ありがとうございました。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員